

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七



（千葉県下・自衛隊基地）
下総・館山・木更津等への移駐訓練基地化を許すな
8月23日、神奈川県・厚木基地で、またもや米軍戦闘機墜落の重大事故が起った。核空母ミッドウェイが横須賀に帰港するたびに、ますます激化する昼夜をわかつたぬ艦載機の離着陸訓練は、周辺住民をすさまじい騒音地獄に叩きこんでいるのみならず、直接に生命をも奪う重大事故統発の危険をふりまいている。
住民を殺して強行する核攻撃基地化

ミッドウェイの艦載機

事実、一九七七年九月二七日、艦載機ファントム爆撃機の厚木基地周辺民家への墜落爆発事故では一瞬にして多くの無残な死傷者を出している。中でも、林裕一郎ちゃんが即死、その母親の和枝さんは全身大やけどのひん死の重傷を負われ、その後何度も入院退院したむごたらしい事故の記憶は今なおなまなましい。しかし、軍事大国化への道をひた走る日・米両支配者は、「夜間訓練はもっと必要だ。厚木がダメなら代替基地を探せ」と、住民の生命などいぢいぢかまっていられるかとはばかりの居直りで、逆に関東の6基地（下総・館山・木更津―以上千葉県、浜松・静岡・百里基地）への移駐訓練基地化拡大を策動している。

またも重大事故

10・9三里塚闘争の大爆発で応えよう
更に、十月六日に佐世保寄港」を発表した世界最大最新鋭核空母カールビンソン（核塔載機を含め90機の艦載機）は、寄港時に海上自衛隊との初の大合同演習をも計画しており、早晚、横須賀寄港―母港化をも狙っていることは明らかである。
「西側陣営の一員として」「極東ソ連軍と対決するとして歯止めない軍事大国化に走る米帝レーガンと中曽根のもとで、文字通り、日本の「不沈空母」核攻撃基地」化は、今急速に進行している。その最大の要―三里塚巨大軍事空港建設二期着工を絶対に粉砕しなければならぬ。ミッドウェイ艦載機の下総・館山・木更津への移駐・訓練を許すな。10・6カールビンソン寄港阻止、10・9三里塚闘争の大爆発をかちとり、軍事大国化への道を断ち切ろう！



身構える候補地
騒音拒否、保革超え結束
下総や百里
第三の厚木基地に免
米軍艦載機訓練場選び

住宅の屋根をかすめるように離陸する海上自衛隊下総基地の対潜哨戒機
=千葉県東葛飾郡沼南町藤ヶ谷で

厚木基地
米艦載機、オーバーラン
見物の親子連れヒヤリ
近くにサク越えれば大惨事
厚木基地
見物の親子連れヒヤリ
近くにサク越えれば大惨事
厚木基地
見物の親子連れヒヤリ
近くにサク越えれば大惨事
厚木基地

著陸に失敗した米海軍の攻撃機A7コルセア。
=23日午後1時30分、厚木基地内で

ミッドウェイ艦載機の夜間訓練 (1/4)
厚木の代替候補に6基地
騒音分散を表明
下総基地問題 塩田長官 反対住民と会談
自衛隊下総航空基地の米軍一しする防衛施設庁側の考えに反対している地元住民の代表は十日、防衛施設庁に塩田長官を訪ね、さる七日鎌ヶ谷市で開かれた「下総基地の米軍使用に反対する八・七住民集会」（坂本守実行委員長）で採択された決議文と六万四千余人の反対署名簿を手渡した。住民代表らはこの席で改めて米軍基地化に反対を表明したが「厚木の代替基地は関東地区以外にない」といなる。

8/20
訓練場再び要請
艦載機の夜間発着
太平洋軍の司令官
防衛庁長官
ハワイ入り